

星々之火可以燎原

45
3
135

SPECIALLY MADE BY KIMASA CO., IN TOKYO

NOTEBOOK

No. 1

訪 中华人民共和国 日誌

1968. 1. 6 ~ 2. 26

議員 學習
日本社会党国会秘書訪中団

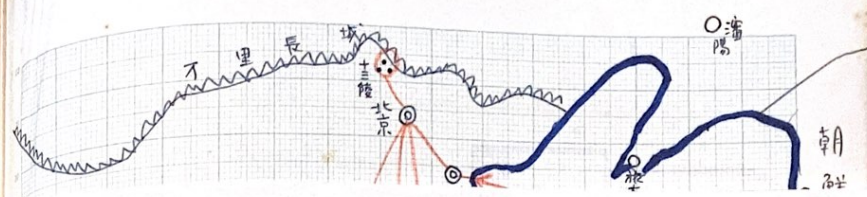
坪井隆治

INDEX

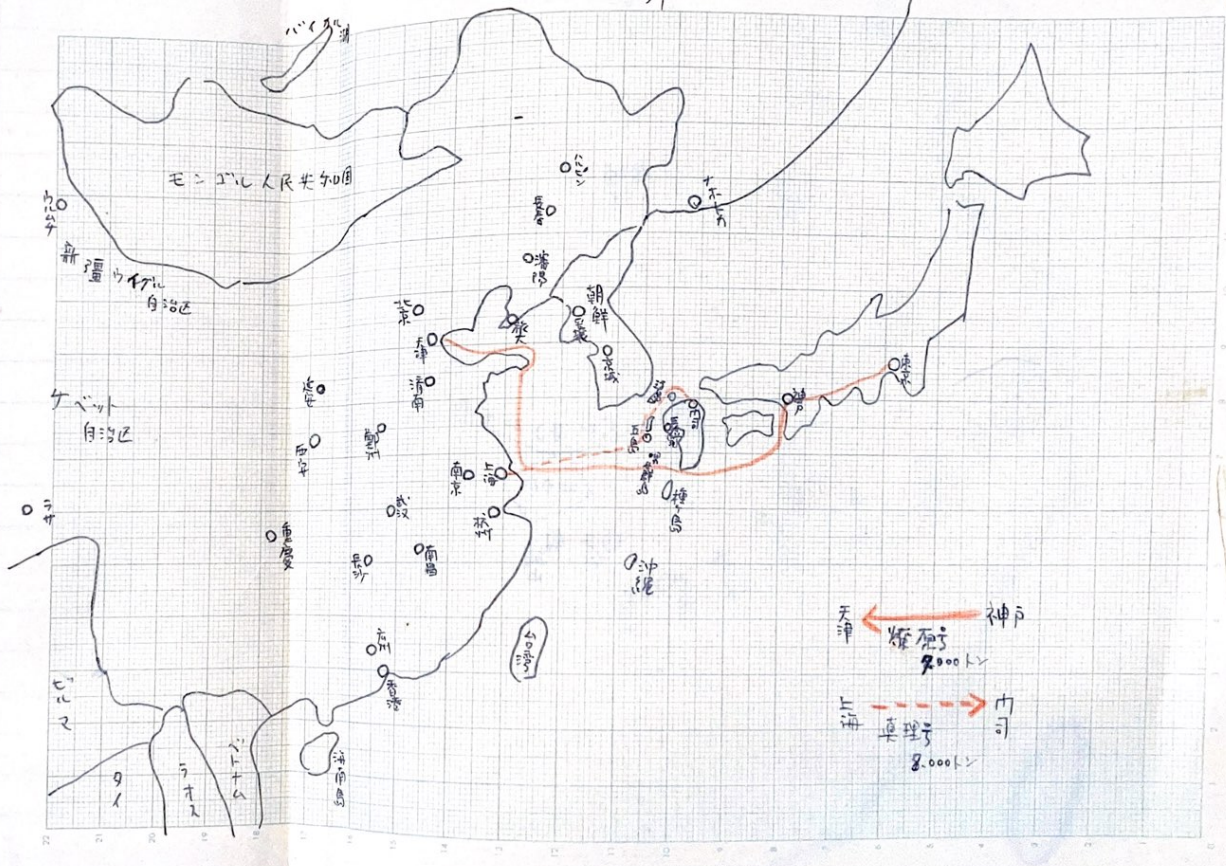
PAGE 1968年		PAGE	
1A 6日	東京 — 神戸	2A 1A	北京
7	神戸	2	" (不 ^重 の長城、 (明の十三陵へ)
8	神戸	3	"
9	神戸港出航 火祭原号	4	" (天津・楊村解放軍)
10	火祭原号	5	" (北京放送録音 鄧沫若先生と会見)
11	"	6	北京 — 長沙
12	"	7	長沙 — 韶山
13	" (上海沖到達)	8	韶山 — 長沙
14	" (山東半島榮成湾飯油)	9	長沙 — 南昌
15	"	10	南昌
16	天津新港着 — 北京	11	南昌 — 吉安
17	北京 (外文学会聴出席)	12	吉安 — 萍鄉・井岡山へ
18	" (周恩来総理会見)	13	井岡山
19	"	14	井岡山 — 吉安
20	"	15	吉安 — 南昌
21	北京 — 上海	16	南昌 — 杭州
22	上海	17	杭州 — 新安江ダム
23	"	18	新安江 — 杭州
24	"	19	杭州
25	"	20	"
26	"	21	"
27	"	22	杭州 — 上海
28	上海 — 濟南	23	上海

INDEX

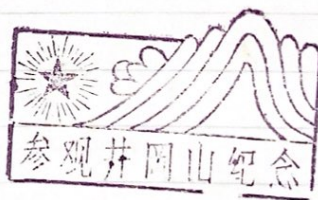
PAGE		PAGE
2月24日	上海港出航 真理号	
25	通理号	
26	竹司港着 — 佐母保	
27	佐母保 — 五島・有川	
28	有川の政卿	
3月1日	有川 — 佐母保 — 東京へ	
2	東京着	
3		



ソ ゲイト (連邦)







1968年1月6日 P. 1.30

新幹線の列車にて東京駅出発

松本、黒田、平塚、野口、土平井

原田(山口から別行動)

P. 5.40. 神戸駅にて原田と合流

電気公社共済寮・扇港荘に宿泊

~~原田~~
~~黒田~~
~~平塚~~
~~野口~~
~~土平井~~

1968年1月6日 P.9 団会計

1. 計中の目的

- a. 社会主義の理解 —— 初めに社会主義(国家を自分の目で見つめる)
- b. 文化大革命の正しい理解と ~~毎~~ ~~日~~ ~~を~~ ~~身~~ ~~に~~ ~~つ~~ ~~け~~ ~~て~~ 自己を高めた。
- c. 日中人民の友好 —— 自己革命

2. 団長挨拶 —— 団の性格について

後刻に再討議" —— 団員代表者の私事と學子として

3. 学習のテーマ

- a. 文化革命について —— 1. 教育の改革 "
- b. ¹⁰社会主義経済の基礎と発展 2. 奪権斗争
- c.

行きたい処 音山、~~語山~~、上海、杭州、武漢

沈阻?

4. 観たところ

- a. 人民公社
- b. 谷飯学校
- c. 社会保障施設
- d. 病院
- e. 重工場 —— 工場労働者の生活

5. 団の規律

- a. 常に5分前(時間)
- b. 批判は全体で行う。
- c. 決定を守る。

d.

7日 P.9 団会議

a. 自己紹介

8日 P.5 団会議

a. 事務打合せ

b. 滞在期間は 入口にて 5月

c. 学習のテーマ

1. 教育改革

2. 専制斗争

〃

9日 P.8.30 団会議 燎原号にて

a. 本日の交流についての感想 — 自己批判

• 歌の練習の必要あり

• 食事のときのカンパイの通知

b. 船中の学習交流

• 平塚 — 市民生活の実態

• ~~平塚~~

• 平井 — 神籠区迄

c. 船中の日程

A. 7. 起床

A. 7.30 ~ 8. 朝食

A. 9.00 ~ 11.00 学習

11.30 ~ 昼食

P. 1.00 ~ 3.00 自修

P. 3.00 ~ 4.30 自由時間

P. 4.30 ~ 夕食

P. 6.00 ~ 8.00 交流

P. 8.00 ~ 10.00 学習、団会議

P. 10.00 ~ 11.00 自由時間

P. 11.00 就寝

7日

燎原号へ乗船 ———→ 日本は中国へ船出

9日 P.2.30 神戸メリケン波止場からシテにて燎原号へ向う

4.5分にて乗船、すぐ政治委員下学礼をし、事務長エン、
船長許 ^{BEN} エンと乗船挨拶。

夕食は士官サロンにて下、事務長と共に会食す。

文章の話 知他雑談も含めて懇談す。

P.6時 歓迎会として船員の代表者約40名に迎えられる。紹介、政治委員
下エンの挨拶、団長の挨拶 — 万礼と、文章の勝利不敗、訪中の意義
歌の交歓 — 団側は全員、「ガンバロー」「神籠区返せ」

7.30分まで終了。

船長の歓迎挨拶に答わられたように、本船に乗って今日から中国に入った
と思つて下、というところだが、将にそのとりの感、深し。

毛沢東語彙の活用は、想像以上に引用され、愛用されてゐると思
つた。例へば、政治委員の挨拶の次には毛語彙の全頁唱和である。

中国人の歌のうたは予知してゐるが、皆仲らうか。

その ~~うた~~ によつて、うまくないのに、練習の必要あり。

初めて日本に離れ、外から祖國の姿を改めて見おあしてみたいと思ふ。

素朴な意味での社会をも自分らの耳目で研認するとは、現下の
人工衛星の時代に宇宙から地球を見おあしたので、遂には宇宙から

せめて、この機会に思 ~~考~~ してみたいと思ふ。

~~意~~ 意味から、今次の訪中は単に文章の学習、視察に止まらない。
24日の

— 昨年のキ2回日中青年交流 抗争斗争以来、あつた訪中の急務から
つて、余田氏の言葉とあり、心はづませる来たと言ふことである。
よかた矢張り、往きは船に上つた。

海上も平安な、~~カギ~~ ナギで、すしも中いたし、部屋は士官士
官室(2人相部屋)に2人づつで、私車、自由、平塚、野口、
の3組に分かる。四国沖 ~~船~~ 船に泊つて南下する、沿岸の風景
うつし。

10日 船中 九州南端・種子島・男女群島中を通る

同志 战友
tounzhi chanyou

你贵姓 — 名姓は? 吃饱了
ni guixing ni 名姓は? chi pao le

好吃 — 好吃
haochi

主席主義是我々日本人民の共同敵
zhu zhu yi zhu yi shi wo wa ri ben ren min de gong tong di

船長	許	三島章	35才
政治委員	木	学礼	41才
事務長	大	長春	44才
接待員	施	仁賢	29才
原田	su	hei	pin
平塚	pin	zung	sun ban
土平	pin	zin	

望月
ie kyu

平果 — 平果
ping guo

同じだ — 様
i yan

午前中 許船長 部屋に話してきた。
木大事務長と会話をす。
中国

P. 6. ~ 8 学習

毛主席語録の読誦

P. 8 ~ 9 綱要

- 総括
- 自修時間を完徹す。
 - 起床直後、徒手体操を。
 - 乗組員との学習交換
 - 毛主席語録の本船(転船)に於ける活用
 - 日中に於ける階級斗争と我々の革命斗争の立場に立つものの生活。

歌の練習

- 大海航行靠舵手
- 心はいつ七仲向う
- 花もよ
- 民族独立行進曲の歌

~~平塚と梅床の前一戦を勝利した。~~ 兵兵
団会館を終ってシャワーを浴す。夕飯前ピンポンをやったのび平と流しきりした。その後平塚はと二局やり共に勝つ。12時就床前に日記をかいてる。

デッキにでて雲空の夜の海は、多分鹿兒島のサツマ半島であろう。光の強い物台から島かげがみえる。星は全く見えない。

船の位置は九州の南端サツマ半島と種子島の向を走っているようだ。この頃からウネリが多分出てヒッチングを始めぬの? 皆床に入りフトをかけるにもぐりこんでしまった。船酔いに不安らしい。

僕は船には慣れているとは言うものの、船の揺れはそう云って強かりと云っているが、余り自信は与わぬの? トーベルシを服用す。

船のハキコは中国大陸の上海に向けている。男女群島の南側を通るやうに、あと4~5時間走れば男女群島のすぐ南側を通り過ぎた。

昼間から福江島の島かげが見える筈なのに、夜だから残念ながら全く
みえない。そんな遠く離れたところには故郷のありを憶へば——
心は ~~女~~ 老いたる女とちを思う。
本日は船上生活の半日は終った。勉強 ~~勉強~~ し、中国の乗組員の人たちは
皆親切だし、食事はとても美味し、楽しい旅がある。

神戸出帆のときは、粉雪がちらちらと降っていたが南下するに
つれて暖かくなってゆく。部屋の中はスーターが通っていてシャツ一枚
で充分。デッキに上って ~~潮~~ 潮風の吹かされても ~~冷~~ そんなに冷い
風ではない。

ゆきとみと邦の東

いよいよの心もいつ

波立ちわたる。

東海を渡す。

11日

昨夜からのウネリは——特に荒れているというほどのことはなかったが——
午後まで続いた。

朝7時 原田氏が起しに声かけてゆく。すぐデッキに上って海岸を見
てゆく。——むや五島列島の島かげはつかかと思つて、

2,000米ほど後方に三つの孤島がみゆ。その左手——北側に割に大
きな島一つも見える。

多分ゴキキ列島の一部分がつかかかと思ふ。男女群羊島 ~~島~~ が見えない。
いざいざ五島列島に近い距離の筈。望望の念深し。

思ふにこの海は古来から遣唐使を始め、ジャコウ才春のころ、さまざま
の感慨とめてこの海岸をめぐって遊んだことであろう。

原力かの時代の今にしては、故人も懐かしい同僚であつたらう。

朝食を食べると思つて居るさうだが、船が揺れるので、皆グロツ
キをみた。原田氏が一番悪い。べつに小生もかぶつたグロツ

倒れて、食事のどしようもないという様子。黒田氏が割に平気
なようで、あとの連中は、まあどうにかまけたる様子。

朝食はうどん ~~うどん~~ 各部屋に運んでもうつたが、皆ひと口
をつけただけで全くダメ。小生だけ美味しいといつて平らげたり、

矢張り海岸工の故か、小生は ~~平気~~ 平気。海の男子の ~~大~~ 大に
あげた。

食事がとても美味しく、小生が ~~一番~~ 一番食べる。この分ではおれ
太つた帰子 = せいらうかじしやう。

とにかく他の者は皆バテているので、学習ビニールをやる。

朝から自由時間ゴロゴロ手も動かさずに過ごす。おれは云つて読書
するほど矢張り頭はささか。昼食はサロニに全員行つて済ま

せながら、原田氏だけは全くダメ。他の連中はそれでもすこすこ
食べる。この頃が船の揺れが一番ひどいようだ。

時差のせいで時計と中国時間と一時向違らせる。

午後全員ゴロゴロと過ごす。 ~~夕食~~ すこすこ本を讀んでい

12日

東海E横断. 上海沖に達す.

たら、眠くたつて3時内近く夕食まで眠る。
いぬりも大作静エリ、皆元氣をとり戻した様子。夕食は皆食
べ了。余田ははやくベットに横になり、あは5人で舞兵兵
に興ず。串焼の太さんと炊事員の福さん、電燈の
の青年と三人が遊戯に来室。通訳や筆談で、主として
中国語会話と記す。こころは中国語をもうまく聞き
強ししくんたつた。

中国語

芥子 部屋 読法 発音
FON TS TOU FA

国産 香烟 タバコ
TOWAN ZIE SIEN IEN

火柴 マツヤ 吃飯 食事
HO TSUAI CHI FAN

起床 洗面 洗顔
CHI TSUWAN SUI- RIYAN

語彙 老婆 妻
YUI RU ROU PU

礼品 贈物. みやげ 愛人
RI PINOT. AI REN

没有 ない 星火燎原
MEI YOU SIN HO LIYAO YAN

有 あり

上海沖から^{大陸の}沿岸を...に北上

13日

一日中 (14)

昨夜半から次第に大きくたつたウネリと強い季節風で、本船は
揺れ。皆寝てゐる様子。小生相変らず食欲旺盛。
平塚、野口氏の部屋の茶釜が割れる。机上のものが落
ちた。6~7等の着という説明。それで(日中)とい
つた。それ(日中)といつた。それ(日中)といつた。それ(日中)といつた。
昼寝をたのしみ「中国」を讀む。

~~又食後...の日中試合...の試合...の試合...の試合...~~

手表 時計 労働 学習
SUO BYO RU BEN SHUE SHI

12日

おま平穩な航海に暮らさ。上海の近くまで来た。ここから
環洋を北上 山東半島へ向う。
夕食後 舞兵の日中試合あり。全員終了で横網とフットシ
カッキでこの試合が問題にたつた。親善試合なり。

山東半島 榮成湾に到る。

初めての大陸を見る。

14日

今朝になって幾分霧も治まったが、渤海湾は可成り
しけているといふこと、正午頃 山東半島の尖端、榮成湾に
仮泊す。初めて中国大陸を見た。
吹雪となり、外気も冷えて凍る。2,000米ぐらい離れた陸地
は人が見えない。一面白く凍りついたように海岸と小島、山
溪船であろう 30~50トンぐらいの船が 20隻ぐらい、栄成湾
の岸近くに泊つてゐる。

初めてみた 真紅の社会主義国は、マングレがもたせて来たらしい
白かった。

夕飯後、大船の長外5名の船員と懇話会をもつ。
そのあと団の総務会社。

毛主席思想の活用とは、マルクス・レーニン教を實踐
するに等しいといふことについて討論す。

意見に二つあり、~~民主主義~~、結局

社会民主主義か、共産主義かの択一あり。

しかして、毛主席を實踐するのには社民教と天つし
つまが合やると思う。

毛主席思想こそは叫ぶのに私は社会党が革命の前途
があるとは、全く討論に参らぬし、小まじめだと思ふ。

学習会のメモ

(出席者) 通信士 孫、大工 孫、林肉 張、林肉 張、接待 施
車長 太。

(要旨)

学習会と一語にマツてを御出すよ。

毛主席の活用は全国にわたるし、強り切つて行われてゐるが、
本船に於ても同じであつて、先ず世界観 ~~を~~ の自己改造が
重要である。 = 種族の世界観 → ソレタリア、ブルジョア
共産主義の世界観 常に自分のものに力が必要に
ある。今たちは常に 自分の中にある世界観と斗つておらぬ。
船員生活にあつても、毛主席と勉強し、その中で、これを合致す
るものは發展させてゆく、合やらぬものは、学習によつて
克服してゆく。

船員の仕事の役割は違ふが、身分的の差別は全くない。

このことは社会体制の違ひ —— 社会主義だからできることである。
例之ば 船長があつても、階級があれば、一語に掃蕩するし、
船のサービスもする。

職業と階級の場合、自分の希望にあつて合致する様に向合
せぬが、国家の要求によつて最終的に決まる。

毛主席と本當に自分のものに参るには、困難を克服しなければ
ならない。完全、徹底的に人民を解放する斗ひは大変である。
しかして最高の要求である。

思想、文化、——、風俗の四つのもつてブルジョア文化を
改造した。例之ば 船に於ては 文革以前には、船長には服務員

が厭置エいた。幹部も思想を学習するから、自分から進んで克服する。即ち階級的なものはなく、仕事の分担が違っただけである。

幹部と一般労働者との間には、互いに打ち合う、助け合うという作風があるから、一々の別を区別にはならない。

自己批判と批判は人民に奉仕するといふことは前提にしているから、それによるトコナシ、感情の中を運ぶことは起らない。従来から批判と自己批判の作風はあった。しかし、文革以後顕著に表わされるようになった。

賃金の問題については、幹部と一般の差はつくが、それは金で保障されているし、家族制では考慮されて決められる。仕事の任務によって多少の差があることは合理的である。

経済主義——人民の中に悪い一面を判別したものがあって改められる。

15日

黄海を天津に向け深く行く。

朝7時すぎに仮泊から出帆。黄海のドンヨリと深い海を抜けて8時頃霧海に入る。まだ多分利が残っていたのが皆あり元気がない。昼間はゴロゴロと過す。夕食は船長と会食。帰国の際も船長使った方がよかったと云ってこいた。

平塚代が、ぜひそうしたいと一層ホッ。小生も移住対策。

ホッン廻りなどという言葉を金く意味がある。

その船便があるのに、わざわざ6才月もあいて飛行機の中を揺るアホらしいと金くさ。

ホー、学習にきたのだから、船中も中国のどろから、船中

生活の意義は深い。何もくさつた街に道に導かれるとは興味も持て合せていい。

ぜひそうしたいものだと言うと平塚代に感謝する。

7日間の船旅も今夜で終り。

すっかり仲よくなった、太事船長、船長と名残りのいい気がする。明朝10時すぎには新港に着く予定。

海は薄氷りが凍っているとの船長の話。

天津新港着

16日 (北京に入る)

本日は正確に新港に着くという=とて、皆うれしうで、何も手に一杯の杯。僕は特にうれいというはどかとはない。太中長 来室していろいろと部屋掃除をやり、下船を待つ。渤海湾を深く進んで、海は5~10cmぐらいある。

11時 接岸。まず、天津港関の人、天津革命委員会の人、三名乗船してきて、サロンで手話。

全員着席してまず毛主席語録の学習。何か半分ほどでもおぼえたい感じがした。いかめしいというよう。

しかし、徹底した毛主席思想の實踐という=にはあつては当りまのことに思える。態度は厳格ながらも親切な人民に奉仕するといふ気概がまじりにこつてゐる。

11時30分下船。船長以下、太中長、施梅待氏など、8日間のいわば起居を共にした仲間の人たちが本当に心から送つてくる。僅か1週間のことであつたが、友情—抽象的でなく、実感として、人間同士としての、日中友好だと思ふ。

本当に別れがたく、特に書記としていた施梅待氏(47)の出立に中国人民外交学会の金蘇城、寧新氏が来てくれた。

天津革命委員会の大の招待で近くの海員クラブで昼食。

2時天津市から新港を3台の自動車に分乗して北京に向ふ。

始めてみる中国の街のみ、天津市の中心街と見れば、多分日本侵略時の建物であろうと思ふやうな古いものが目につく。

自動車は東吹の外車のうなるスマートなもので、津京道路を一貫線に、しなく長く平野に、尖った丁屋敷をいっつも通る。

一番目につくもの—というより=が家の壁にもベタベタと流っている、毛主席思想の文、空を飛ぶ共産主義の旗、というものは、道端にはいるのは、自転車、トラック、それら馬に二頭立、三頭立の

馬車。農家が、野菜を積み、道具のせ、ワラを積み、各所にこぼれまわりのせを走つている。乗用車は凡どいっぺん。3台連なつて走る便の自動車も珍らしい。中国の=とて、可愛らしい。大人たちの顔を見ても特に何の=とて、可愛らしい顔。大人たちの顔を見ても特に何の=とて、可愛らしい顔。大人たちの顔を見ても特に何の=とて、可愛らしい顔。

かやの、東史を思い出す。=とて、可愛らしい顔。大人たちの顔を見ても特に何の=とて、可愛らしい顔。大人たちの顔を見ても特に何の=とて、可愛らしい顔。

=とて、可愛らしい顔。大人たちの顔を見ても特に何の=とて、可愛らしい顔。大人たちの顔を見ても特に何の=とて、可愛らしい顔。

かやの、東史を思い出す。=とて、可愛らしい顔。大人たちの顔を見ても特に何の=とて、可愛らしい顔。大人たちの顔を見ても特に何の=とて、可愛らしい顔。

かやの、東史を思い出す。=とて、可愛らしい顔。大人たちの顔を見ても特に何の=とて、可愛らしい顔。大人たちの顔を見ても特に何の=とて、可愛らしい顔。

3時、=らは北京市に入ったのがちかと思つてゐるうちに、北京飯店に着く。=人づつ=部屋。=階。僕は黒田氏と237号室。

外交学会の人たちが来て挨拶、自己紹介。6時半食堂で夕食。=先に到着して、石野久男、村野重作、西村、天津の日中友好協会 藤原氏と会う。

8時まで天安門まで散歩。天安門の樓上に夜空に輝く毛澤東の肖像画と中国共産党のスターの真下に立して何かの感慨あり。北京は今日は特別晴かという=とて、東京と余り変り。

燎原氏の所居 — 中国遠洋運輸公司 上海出張所? 天津市革命委員会 外事部長 鄭元良 (人民解放軍)

(北京飯店が会主人) 外交学会、肖向前、金蘇城(47)、王堯雲、陳光、鄧、王、周斌、寧新(27)、陳月霞(女性通訳)

劉徳有の記者

17日 北京

10時から、金土外七二書院2720-ルの打合せ
 改訂の原稿を一覧しつゝ、こゝに付。
 午後1時、2時に陳才霞さんにおかれ、隣の2002号木の下の西壁、90分
 ほどが、切手とともい、万華筆「英雄」も買、~~北師大~~ 一筆如、
 2:30から「人民日報」の読書会。今夜毎日必ず「人民日報」を一冊
 ほどは陳、寧さんより30分ほど読んでもらうことにする。
 国際協会の二二二が分り、中国語の覚え強めするのだ。
~~3時から~~ 今日予定の周總理との会見が流れたのだ。3時から(区画の)
 王の意味もあつ、北京市内見学。3時の自動車に分乗し、景山公園
 (紅担公園) ~ 文藝地区 ~ 西(北) ~ 東街 (北) へ出る。
 西地区にある大学の前は、学校(北)設備が完備している。
 特に理工科系が整備されている。例として、石油、鉱業、地産、
 6時から、団の歓迎会と外報記者団の送会を兼ねて、
 中国人民外科学会王蔭園 秘書長主催の会食あり。

昼食後、石野、枝打両先生に ~~文筆~~ 20文筆についての話をきく。→改訂の原稿
 とする。

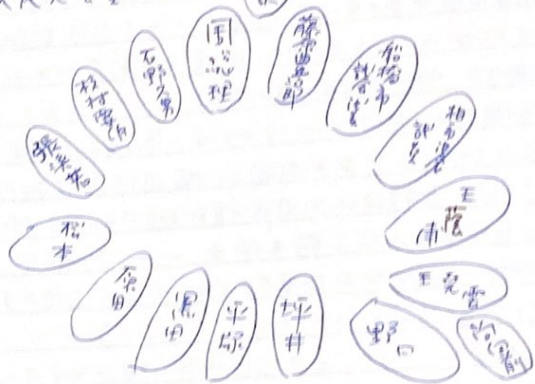
全文説明

- 1. 文筆の痛切な問題点
- a. 20-21年独裁下における社会主義的闘争の ~~文筆~~ 権闘争が起るのか。
- b. 毛思想の活用活用の用にある。
- c. イデオロギ-の革命 → 政治革命へ進み、~~文筆~~ 闘争 → 作家的な ~~文筆~~ 闘争 (文化革命) (奪取闘争)
- d. 20文筆において、大衆党 ~~文筆~~ が北に中核 ~~文筆~~ であることの評價
 確證・大衆党内に20の路線があり、その中で ~~文筆~~ 奪取闘争のみ。
 枝打・組織は20にいたるのだから、文筆においては、大衆党は中核 ~~文筆~~
 である。即ち大衆路線であった。

周恩来総理との会見

18日 北京

7月9-1 北京師範大学附属第一中学校 紅担隊との懇談
 北京飯店にて、教師2名 生徒250名
 P. 2:40-5 周恩来総理との会見
 人民大会堂にて、



外部会の担当者

夜、石野、枝打両先生と共に周總理会見の傍聴について打合せす。

〔北京師範大学附属第一中学校 紅担隊との懇談会〕

本校における文筆の状況

6.5.16 毛主席の通知に前進して。→ ~~資本主義~~ 実利主義からの。 }
 6.6.1 大字報の発表に20文筆陣営 { 反党反人民分子を批判せよ
 赤子隊の大字報より、北京市委員会など、反毛の罪悪を批判した。
 この文筆の流は、実利主義のドグマを始す。特に中国の20文筆が、~~文筆~~
 その文筆陣営は毛と、劉は反動路線を制定し、火消結果ヲ工作队と
 各地に派遣した。翌日の夜、劉は本校にも到着した。
 工作队は、毛アゲル、反動路線は、本口元と向けてアゲル、革命的教師。

学生も弾圧しようとした。これはもう本校の文革は消滅される屋敷にあり、
と云、我々革命分子は、6.6.20 新校日の大字報——我々の肝臓にもい
リンゴが女性変化を呼び出し！——を作った。
毛主席こそが我々の唯一の行動指針である。斗争の本質と云ったことは批判した。
帝主義と反動派はハリコの虎であるといっているが、劉少奇も矢張りハリコの虎
である。林彪は云々——毛思想に武装した紅衛兵は小者であるが
彼等の書いた大字報とみて劉少奇はドギモをぬいた。
大字報の出てきた数時間後、中口のフルシヨフは、革命派を弾圧する命を出し
白色テロにまわって弾圧した。これから我々の階級斗争は始まったのだ。
劉少奇は——彼等は赤旗をかかげ赤旗に反対する勢力があるかもしれない。
だから彼等も圧倒する大字報を作れ——と云った。
彼等のフヤツリは、革命分子を尾行したり、8千名もの大集会も開
かせたりして革命的紅衛兵を追求した。
革命分子は、毛思想を愛し、心に沁りこめ刻みこんだのです——高文に
反対しているとは悪いことではない。——毛語録のP.354にあるこの章を
幾度も学習しました。
この言葉は我々を励ましてくれました、それから中口のフルシヨフの弾圧が
激しくなると、紅衛兵と階級的革命分子は進んでいった。
当時、毛主席のバツはすくなく、ハオ手もつし、「大海と往くには」「毛主
席をたたえ」「東才紅」とも歌ったものでした。
井岡山の詩——高文に回固を固められたいと我々はびくびくし……
これは毎日教室に掲げました。また廬山の詩——？——
も朗読したものです。高文は我々の教室も固めました。
そうすると、こうして、毛主席がいつも側にいて直接我々を指導してくれよう
と云ったのです。
こうして、革命派が赤旗を高くあげた。これは大字報とみて大いに怒り、
中口のフルシヨフは本校の工作班を2回にわたって直接会見し、激刺した。
斗争大会の席上で、工作班の权威をうたつようとし、工作班を批判するもの

は、反革命分子にしたあげられました。~~痛~~ 中には初等1年のまで赤い
ネットワークをつけている女子もいました。工作班は斗争大会を終え、教師と
学生と互に斗争しました。その結果、教師の90%は反革命分子とされ、学生
も意気をはげめました。こうして、全校教師、学生約1,000名の中で200名
が反革命に指摘されたのです。今いるの中にも8名います。
今は、毛主席が名誉を回復してくれました。こうして白色テロの下で我々は屈服
するのではなく天安門にゆき、革命の碑を見せ、語録P.248——革命に殉じた
何千何万の戦士たちよ……——をいつも学習したものでした。
こうして、我々のヨウ副主任は、工作班の右翼反動性をも指摘した大字報を出し、
教師も大勢起上ったのです。彼等は政治にならずに、昼間は斗争に参
加し、夜は学習して——大衆を信じ大衆に奉仕しよう——ということを確認し
ました。その後16ヶ条が公布されたことはラジオでききました。
それは——火事場どりのように気をつけよう、革命分子と反革命分子に仕立あげ
てはならない——と教えています。
16ヶ条は我々の全身を照らしてくれました。そして白色テロをうち破り、我々の革
命を進めゆきました。特に印象が深いのは毛主席がチウナンカイで直接会見
してくれたことです。
紅衛兵の成立
革命的大衆は自分で或る組織を作ります、これを紅衛兵と云います。
兵……兵……心……心……死……死……をしても毛主席の革命路線を守り、兵……戦士
紅衛兵は新しい事柄であって、劉は非合法組織だ、取り締まれと云った。
6.6.8.16、我々の赤い司令官毛主席は直接我々を指揮し会見してくれました。
毛主席が手を挙げては、我々は前進する。我々の全員これに参加し、毛主席の
壯健な姿を見て感激し涙を流した。この日は記念すべき日であった。
毛主席は——紅衛兵が革命を実行する部隊であり、プロレタリアは自分
も革命するには、全世界を革命しつけなければならない——と教えた。
こうして我々紅衛兵は社会の舞台にあらわれ、社会の四つの古い習慣、文化
をうち破ったのです。そして搾取階級、即ち地主分子、富農、反革命、悪質、右派分子

の女性変化を暴露し、また商店街の看板も新しいものに变えられました。

ex. ソ連大使館に通ずる揚威路も → 反修路と変えられた。

毛主席の教を守り全口に行つて革命の火をともしたのです。

66.10.1 林彪副主席は10慶節の講話で、ブルジョア反动路線を徹底的に批判するべきだから革命の成否にかつていると云った。9月10.1の紅衛が批判せよと叫びかけた。

この新しい偉大な叫びの下で、我々教師、学生は、この斗争に直接参加し、大官報やビラ、パンフレット等に宣伝した。東風が西風を圧倒するのと同じく西風が東風を圧倒するのがある。この教を基として折衷主義を排し、劉少奇を徹底的に批判した。^{に反対し}

この激しい斗争を通じて、「連合行動委員会」は「6.20北京市学代会」も66.12.20結成したが、まだ数は少なく約150名。しかし激しい斗争を通じて確信していた。67.1 毛主席は奪権斗争と指示した。

党、政、政権を奪取した。67.2. 未 軍事、政治、政治訓練を行うよう指示せし、本校にも解放軍の下で実施された。

解放軍の人たちは毛主席を愛し、革命路線と確実に進む。奇つた習慣と身につけよう教えてくれました。毛主席の教を忠実の指針としたのです。

劉少奇の反动路線を打ち破り、以前階級に打ちかけられた学生も日頃の、我々の組織も徐々に大きくなっていった。そして3番目に解放軍の援助の下で臨時革命機構を作った。

革命は教育を打ちけなければならない。これによって我々は教育を大革命の斗争とせよと云うのである。白色テロは約50回続いた。

「連合行動委員会」……劉少奇路線の先遣隊であった。67年元旦社説の中で反革命組織があると指摘した。

毛主席の四大教育方針……自由に学習、組織、内容、結合。

劉は智育を第一とした。

諸君は初版が62年解放軍の使われ、実質的に市場のものは64年。

劉少奇の「修養と批判」は、
・政権を奪取することに反対し、
・自己中心の個人イデオロギの改革 } と説いた。

工、農

解放軍の三支、二持。一、軍事管理、軍事訓練。

66.5.7 毛主席が林彪に宛てた手紙

(教育制度の根本が昔のやつだ。教育は革命を打ちけなければならない。ブルジョアが学問と支配するのを止めよ。)

(周恩来総理の談話要旨)

中国の革命は常に政府側に対して争うべきです。文革の中にも若ものが革命運動を受け、派閥性が強くなり、貴口の党派にも派閥性が強くなる可能性がある。自派も相当強くなる。10会制度自体も派閥性を生む基になります。

一つの党がたまたま指導者や変更にすれば、聖蹟^{のふりかた}がなくなり、試練に耐えた指導者が現出してくるようになります。イギリスの古参の政治家はこの道理を知ら

る。チャーチルは大英帝国の位に最後の終止符をうつたのです。労働党、自由党でまじりつた指導者が現出してくる。困難なチャーチルは大英帝国にも終止符をうつたのです。最近、英政治家(外相)

が日本を評して日英同盟の夢ももう一度みようとていいます。日英同盟が1898-99の比日英同盟と結んだ。このとき若い人たちは4000

いすか。彼等が談判して結んだ。この条約を忘れてしまつて、いかにいかに、何もいかにその時代は過ぎたのです。彼等はアジアは日本のもの、^{ヨシツネ}中東は英口のものといひながら、全く無謀な話

です。アメリカに協力して軍国主義復活の目的を呼び起さうとしたことに夢があるのです。この夢を社会党の坊主は註目すべきです。

昨年の佐藤訪米^{の中心内容はここにあり}、彼等は日本人の道徳を考へて、佐藤が帰口して「口内会議」して再軍備に迫るをかけた。その理由

で、中東と日本に逆手を取らさうと云う。アメリカに協力して守らねばならぬと云う。こういったヤコブを日本人民は侮ら、時代も置ら、アジアはアジアのもの、ヨーロッパはヨーロッパのもの、^{このことはよく知られている。ヨーロッパはヨーロッパのもの、}連修正

主義者のものでもありせん。今の時代が、一ツか二ツかの口が大陸を踏占すの

アメリカとイギリスは...
- 1942年11月4日

日清戦に立派なものである。アメリカは東南アジア...
南ベトナムは1,400万人、16万平方キロ...
50万近... 軍隊... 南朝鮮... 7万人...
南ベトナムのライオン軍が... 合計17万人...
50万の兵隊が... 1,400万人の人口...
50万の兵隊が... 20~30万の兵隊...
アメリカは20万、30万を増加する...
100人のアメリカ人の中から20人の黒人を...
黒人は戦争を好むから...
200万の兵隊...
1971年...
マーシャル、シガポールは反対...
日本の外務大臣はアメリカへ行き、イギリスがアジアから手を引く...
これは何故か... 一層大英帝国は弱くなった...
もうイングランドだけが残る...
アメリカが徴兵しようとしても、国内的、国内的に反対...
世界の強さ、帝国主義の口が30万の兵隊増加...
人口の... 南ベトナム解放戦線が... 80万人...
こういふことは一つの真理を...
無敵である... 1,400万人の人口...
今日南ベトナムで行われている人民戦争の道理は...
人民の心を失った世界の帝国主義の口でも、30万の兵力増加は...
20世紀の時代に他の口を侵略して居た例は...
エチオピアに侵略したが成功しなかった...
イタリヤが

1世紀半前のナポレオンがエジプトにも入ったと...
侵略者による結果は... 日本は中国を侵略して50年...
日本は中国を侵略して50年... 逆の意味から... 日本は帝国主義に感謝...
日本軍国主義が中国を侵略した... 中国は月...
中国はかつて多くの学生を日本に送った...
今日の新しい世界が生まれる... 強さ... 私たちは...
私たちはアメリカが日本を... 中国に...
1,400万人の人民を50万で押さえる... 7億の人口...
50万の50倍は2,500万... 2,500万の軍隊を必要とする...
日本軍国主義を... 準備...
今日、日本人は自覚... アメリカと日本軍国主義の...
例え2,500万より多く、その半分の1,250万...
中国人民は、ベトナム南方の半分の勇気...
南朝鮮、蒋介石、日本全部...
中国の... 革命... 政治...
武斗... 武斗... 武斗...
アメリカが1,250万、更に2,500万、更に5,000万の兵力を投入...
アメリカの... 最大の作戦家...
この数字は...

1世紀半前のナポレオンがエジプトにも入ったと...
侵略者による結果は... 日本は中国を侵略して50年...
日本は中国を侵略して50年... 逆の意味から... 日本は帝国主義に感謝...
日本軍国主義が中国を侵略した... 中国は月...
中国はかつて多くの学生を日本に送った...
今日の新しい世界が生まれる... 強さ... 私たちは...
私たちはアメリカが日本を... 中国に...
1,400万人の人民を50万で押さえる... 7億の人口...
50万の50倍は2,500万... 2,500万の軍隊を必要とする...
日本軍国主義を... 準備...
今日、日本人は自覚... アメリカと日本軍国主義の...
例え2,500万より多く、その半分の1,250万...
中国人民は、ベトナム南方の半分の勇気...
南朝鮮、蒋介石、日本全部...
中国の... 革命... 政治...
武斗... 武斗... 武斗...
アメリカが1,250万、更に2,500万、更に5,000万の兵力を投入...
アメリカの... 最大の作戦家...
この数字は...

100
150
200
250
300
350
400
450
500
550
600
650
700
750
800
850
900
950
1000

想しながら。しかし、我々はその準備を済ませたので、しつかりと立つべきが
あります。一昨年初めにはこのことを去ったことがありません。
私たちはアメリカ帝国主義に対しては、戦争を避けてしめつけたい。決
然と挑発はしません。しかしアメリカがあくまで中東を拡大しようとするならば
私たちはいつでも立ち上がり、中東の領土を奪回するつもりです。
中東は去ったことは必ず実行します。戦争は漸進するに限りなく
あります。アメリカとしては、中東に対しては陸軍を使わずに空軍と海軍だけ
使うべきです。陸軍を入れたければ中東には、はいつて来るとい
う。これは戦争はできません。
アメリカ帝国主義に、戦争を早めれば早めるだけ、死を早めるだけだ
と知らせなくてはなりません。最近ジョージアとベトナムでさえも
どうにもならなくなりました。戦争の叫びがヨーロッパに響いては
答えてくれません。ドゴールが反対したばかりでなく、英
国がアジアから兵隊を引きあげる決定もあります。西ドイツの
ヒトラーの時代でさえ、アジアに出兵したことはありませ
ん。その理由はヨーロッパで力があるからです。
ヨーロッパの仲間を探したがみつからないので、ギリシヤを
仲間にした。これは笑いの話です。
アジアに於てはアメリカは日本の反動政府を支持して、その
目的を果すとしよう。その巨大な日本の軍国主義は、もろく
も喜びで喜び、予算を増やし、軍費を増やし、自衛隊を
沖繩まで送り、海外出兵を日弁でいす。しかし、こう
すると日本の経済が狂ってきます。相当の額に上る赤字が
膨大する一歩です。これは日本人が無理すべきこと
ではありません。アメリカに援助してもらおうと思っても、
アメリカ自体が引き締めを行って、アメリカは物を輸出
するときは、税金を減らし、輸入には増税しているが、
日本はアメリカからの最大の輸入口であるのに、むしろ買
って行くていす。日本の良法ある資本家までそれに賛成し
ない。そういう輸出をする軍需産業はもうけが、誰が
これに金を払うのか。アジアで軍需を買入る

口はもうない。軍需は再生産ができません。日本の軍国主義者は
この問題を先手もつことを考えています。日本は一貫して先手
もつ方針をたてています。第一次大戦は先手もつという方針は有効
でした。第二次大戦はどうか。1931.9.18事件、7.7
ロウカイヨウ事件、ホルルンジュン事件の結果はどうか。最後は
失敗しました。第二次大戦以後、中国はビエでも成功し
ません。ムソリーニもヒトラーも先手もつては失敗し
ました。南ベトナム戦争もこのことを立証しています。
私たちの態度は非常にはっきりしています。
中国は社会主義の国ですから決して戦争を先に仕掛けることは
ありません。しかし、外国が中国に侵略してきた場合は、
応じなければなりません。中国の領土内を奪回します。核兵器、
原爆もそうだし、新しい核兵器がでたら私たちは毎回必ず
発表してきます。まず強調したのは、必要制
限のあるもので、決してムチャクチャには使わない
です。1964年10月が最初の実験ですから、3年間に6
〜7回しか使わないです。その度々高めたい実験
をしたのです。このとき自体が必要かつ、制限あり
まうに使う証拠です。そして実験を行うごとに、目的は
米ソの核独占キヨウカツの陰謀を打破すること
だと発表してきます。中国にはかかるべき、かかるべき
ころでも核兵器をそろから先に使用することはありませ
ん。この立場ははっきりしており、変るもの
はない。
現在はすばらしい情勢に直面しています。帝国主義の侵略に
反対し、民族の独立を達成し、人類の進歩を早め、
世界の平和に役立つ非常なすばらしい情勢。
だから皆さんは、さらさらの国際情勢を交換した
ことは日中の友好のためにいいこと
だと思います。安保の問題はすでに日程に
のぼっています。あせらねえといは
いけません。私は皆さんが安保に反対して
いることに共感します。今年、佐藤も、
ジョージアも選挙があり、同じ運命
をたてようか、もし敗北したくても、
たいしたことはありませぬ。落選すれば
おあつた。勿論皆さんは安保も
争わなければなりません。佐藤は岸
よりも反動的で悪くズルイです。

今日、日共修正主義は日本の人民をうらめしめた。この責は皆さんの浅沼に及ぼしません。同じ演壇に立つ刺されたのは、野坂ではなく浅沼さんでは、このことは理由がたいへんではありません。浅沼さんが中口に於て毛主席と話したことは力があるからです。反米、反安保については、宮本は勿論、野坂でも日本人民をうらめしめたことについて、日本の反共勢力はよく知っているのです。彼等の身辺も反共の警視庁が警備しているではありませんが、私が残念に思うのは、佐々木さんが中口で「貿易に委員長も辞職したのだ」といふ。成田さん~~は~~佐々木さんはもうお互い協力したくなくなったのでしようか。社会党は国会斗争だけでは足りません。地道にはいって、大衆運動に身を投じていけることは任務が重いと私は思います。

戦争の力とくちの力は人民の力が何とくとも決定的です。

もちろん、彼等は国会不採択という手もあるかもしれませんが、しかし人民が承知しなければなりません。頭の痛い内題になります。

アメリカの戦車に日本を押しつけることは、日本人民にとって不利であることはよく知られています。社会主義体制からいっても、18年間の中日友好関係からいって、中口が日本を侵略することはありません。その必要もない。

毛主席の著作の中にもこのことは、はっきりと示されています。

(佐々木更三氏訪中のことについて)

佐々木先生が訪中したそうですが、佐々木さんのオマケの都合がいろいろありますが、私としては下半期には時間をとって接待する事ができます。中口人民は友人を歓迎します。例え成功しても失敗しても(党の指導権の内題が)歓迎します。辞職し失敗したにあたりても、友人にちねないわけがありません。佐々木さんは辞職したけれども失礼な友人として接待します。

戦後の日本で岸山は民社の顧問になったからである。石橋さんは身が弱く、~~社会党~~ ^{社会党} 権力にたつことはできませんでしたが、友人として歓迎します。
^(社会党が五次訪中中国のこと) 社会党が五次訪中中国のことは、社会党の現在の執行部の内容からいって、一考しなくてはなりません。交流はいい。中口はプロ文革の中心にあるので接待する上で困難があります。社会党の指導部はソ連修正主義の方向を向けています。

(L.T. 貿易について)

中日貿易のうち、友好貿易以外に高崎氏と廖氏の間の貿易については、本年と完全に中断したわけはありません。去年私たちは、早く来るように促したが、中口にならなかつたので、私たちは~~それに~~ ^{それに} ~~引き延ば~~ ^{引き延ば} した。もし、今先に小人衆で話し合いに来らねばならぬ、私たちは接触するつもりです。(まず小人衆が基本目的をいって接触しよう) このことを松村先生にお伝え下さい。

中口が革命の根拠地であるとは去之たいと思います。同じ志をもつた人が相協力して世界のプロレタリア革命の道を進めたいと思います。

19日 北京

A.8 人民公社へ参観

午後 人民路へ散歩 テロートへ買物

P.7 北海公園へ氷上パレード「白毛女」女性中隊長 観劇

石野、枝村、代、帰りの途へ

红星人民公社

北京市郊外

生産大隊 9ヶ 小隊 120

主任 袁言庸 73才 食農出身

1958. 成立 人口 55,000人 労働人口 24,000人

耕地 10,000ヘクタール 稲 4,000ヘクタール

小麦 3,500 "

野菜 300 "

果樹 150 " (ブドウ、蘋果、梨、桃)

小学校 11 8,000人

診療所 9 医師 14名

中学校 6 2,000人

看護婦 16名

映画館 1 毛思想宣伝隊 1

トラクター 64台 トリック 34台

コンバイン 11台 馬車 25,000台 (基本隊には機械化せしが、取り入れ機が不足)

一帯に17成立せしむるも、解放後毛主席は、合作への道を進め、それによつて貧困から逃れられ、と説いた。

まず互助組を作った。これは共同作業し、収穫は土地の所有者のものとした。

この合作はいろいろ矛盾があった。これは基礎に17 初級合作社を結成した。

これは半社会主義の小集団で、50%は土地の株に22%分配し、残り50%は労働による分配で、これは完全である。

次に高級合作社を作った。

多く働いた者は多くという完全な社会主義があり、しかし規模が小さく、単一生産に依りかねた。

高級合作社が7ヶ合併して現在の人民公社を結成した。

政、社、合であり、多角経営があり、政权の末端組織である。

この合作の全過程を通じて志願の精神が貫かれていた。これは、共産党、共青団

下層貧農から組織する=4に1だ。この人たちは、そういう要求をもっており、党の指導

を大きく受けたからである。この人たちは基礎に17 他の人と組織した。これは階級斗争のツツもあった。

我々大衆がこの合作を進めようとして、地主、富農は、おどがせられた。地主は一帯に17 投稗 30割頭と毒殺し、稲の田を破壊し、

農産物は水稲と小麦。この増産は文革が原因のツツである。

稲	公社にちよびては	1.57トン	2.5トン
	67年	5%	に増加
小麦	"	1.トン	
	67年	3トン	

毛主席は、牧畜と半機械農業は不完全農業だと教えた。

一畝のブタは一毛の土地の肥料問題は解決される。(1畝---15毛)

乳牛 5,000頭 9ヶの乳しおり場がある。

アヒル出荷年産 110,000羽 肥料も7ヶ。

ブタ " 25,000頭

鶏 " 50,000羽

工業も併設せよと毛主席は指示した。

レニガ、製粉、ネジ工場、農薬、ミルク、製油、農具修理工場、水利化、電氣化も進んだ。

有線拡声器送もあり、アホ主義の侵略を放送する。これはすべて、生産を助め、ベトナムを支援し、その母国人民のプロレタリア革命を支援する。

現在は、大多数の社員は自転車、ラジオを持ち新しい家を作った。昔は腹一ぱい

も喰えず、毛思想を学習するようになり、思想改造もできた。昔は20回ほど強押強がたはかりだった。今は番人も不要、脱穀場でも番はいらない。

文革によって、若者は死にたいようになり、生産隊の中で毛思想を学習して、生産高は上がった。だから

今度の文革はその絶好の材料であり、修正主義を根絶し「だければならぬ」、思想を高め、自覚を高め生産を高めなければならぬ。今年は今までのすべてのついで最高の生産があった。

土地改革について

解放された土地は完全に分配された。

家族制、自作農によって分配した。

その30%を搾取していた人を富農という。

自由地……使用権が所有権はない。

1人当り66平米 生活補助的に野菜類を植える。

収入の分配

公益費 5% (社会保障等に充てる)

積立金 15%

農業税 7% (1953年11.~13%という国家の規定がある)
(その生産が上がるにつれて、23%になる)

生産費 23%

社員への配当 50%

消費購買……購買販賣合作社……社員の出資

文革の経過

5.16通知によって始り、始めは学習した。二つの指導機構(生産班、文筆班)を組織し摘発した。官僚化と浪費者を批判し、現在もその過程で、当初、北京市女学生会から工作班が派遣されたが、すぐ退いた。現在大連合を実現した。

今の内題実は三結合——干部、农民、民兵——にあるが、悪い奴と結合したくないという意見もあるが、まだ論争中。

公社幹部70名のうち3名についてだけまだ解放されていなく、

解放軍が10名支援に来ている。

20日 北京

A. 8.30 綿紡工場へ参観

P. 3. 四川省の大邑人地主劉文彩の土人形展示館参観

〔立北京市2棉紡績工場〕

華北主任が2氏及若の8名

1954 建設 1955.9.16 生産開始

錠2台 10万錠 布織機 24,000台 職員 5,300人 うち女子70%(20才)

全面積 410,000^m 生産量 1日 180,000^m

建坪 88,000 綿紡 101,000^m2

附帯施設 98,000 (住宅等)

幼稚園1、保育園2、病院1

(女性保護)

1. 生理中……必要時だけ休む

2. 妊娠中……7.30労働時間のうち1時間休憩。(7ヶ月以上)

3. 出産期……産休 56日間

4. 保乳期……45分お2回(補乳時間(自費に乳児を置く場合)

工場内の保育園に加入の場合、補乳2回

給料は全く同じ

(一般職員)

・生(出産)、産、病

・老……養老年金(定年退職者) 女性 50才(工場)

終身年金 55才(専攻)

退職時の月給の55% 男性 60才

社会は、本人の希望どおり(そのうち2可、転居も可)

・病……賃金は同じ、費用は本人全額保険、家族は半額

・3也……

・労災保障……終身100%支給

(勤務時間)

三交替制 1. 班 A 6.30 ~ 2.30
 2. 班 P. 2.30 ~ 10.30
 3. 班 P. 10.30 ~ 6.30

計 8 時間 うち 食事 30 分
 日曜は休日 週 45 時間労働

(賃金の決定)

取捨: 政治的・生活的に査定し、その性格の基準に合せて決定する。

平均 60円 (工員の場合)

最高 102円

低 40割円

見習 32円 (1~2年向)

職員... 工場長 技師長 150~160円

副... 副... 80割円

機械修理工... "

中層幹部(課長主任) 60~80円

(住宅)

1. 独身寮... 部屋代、光熱費は 1ヶ月 60 割

2. 在帯寮... 自取りの大抵は家族割による。

1部屋 約 10割平米 (1平米 10割)

2DK と 12 1ヶ月 約 4~5円

食費(工場及住宅) 1ヶ月 12円 又は 10分

工場は工場内にあり無料

(学習活動)

学習班をとり学習し、生産に力を入れる。 有給休暇

" は 7 月 期 に行われ、個人的なため。

貯蓄の目的

1. 社会主義建設のため。

2. 不時の使用 例、自転車やラジオを買う

(文革について)

1966. 6月 毛主席の指示により上半期に大衆は起り、修正主義、ブルジョア主義と批判した。

本工場では 66年 6月上旬 新不校の大字報が作られた。

工作班がまず 造反を始めた。 8月 16日 条が指示された。

毛主席は 私の大字報というのを発表し、人民を奮立たせた。

その後毛主席は 天安門で 1千数百名の紅衛兵に接見した。

中口のブルジョア的工作班に対し、2日目の造反を指導した。

造反は最初は 革命的であったが、次第に 二つの派に分れた。 一方は毛澤東作をよく学習しつづけたからである。

二派に分れた 三つの原因 (東江造反隊と革命委員会)

1. フォグの派閥性 2. ブルジョア反動路線の影響 3. 反動路線の指導

両派は 互いの派閥を攻撃し、内部矛盾を起した。

この現象は 幹部の中で甚しかった。 一方ある幹部(女性)はブルジョア反動路線を進めたので、彼女に自己批判を要求した。 しかし他の一派は、彼女をもう解放してもよいと主張して ありあわなかった。

行きすぎの意見と、保護している中層子をかばせたりして、二派は長期にわたって 論争した。 その後、毛主席の最高指示 — 労働者の中には根本的利害の差はない。大連合すべきだ — により 論争は 締着した。 連合した。

そして 実践の中で 互いの理解を深めてゆくことにした。

つまり、両派は 相手の欠点を誤りなく発言し、我が身に力をつけてきた。 原則的につけて 連合し、未解決のものは意見と保留を置いて、手続批判により 自己の思想を高め、その中から必ず一致するところになる。

北京 ~~南京~~ 上海

21日

A. 8.15 北京空港より上海の向か。 10.40 上海空港着
P. 2. 中口共産党第1回創立大会 (1921年) 会場跡建物の参観
夜 人民外語学会上海分会からヒカリナ。

(中口共産党第1回大会開催建物の参観)

説明員 陳沛存
望志路 → 興業路

1921.7.1 開催 全党員 57名 代表 12名 1522ノ界 17番 106番
大会4日目にフランスの巡視がウツロから入ったので早く移動した。その10数分間に包圍は
ヒツリ者 嘉興県の湖上の船上で大会は続けられた。
この革命の任務が提起され、中央機構が組織された。毛主席はカインヘキレキと云った。
この家は市民の室。当時会場の跡は、倉庫だけを使用し、宿泊はしなかった。そのこ
解放前は一般市民が住んでいた。 浸火 焼架で済む。

(中口共産党の歴史)

中口労働運動とマール主義が相結合して党が結合された。 1917.10月革命とレニ

ンが主だった。その中口にはマール主義が知識人によって導入された。

1917. 冬 湖南省に於いて農民の苦悩と社会調査し、1918春 新民学会という革命団
体を組織した。そのこの学会から多くの党員を生んだ。

1919. 五支愛国運動が起り、毛主席も湖南省で進めた。 長沙で「湘江評論」の
雑誌を発行した。このように毛主席は早い時期から造反精神が旺盛だった。

1919春、北京、上海に於き革命運動に参加、学会の雑誌の中で共産党と作らばと書
った。 1920夏 湖南省に帰る。共産主義小題也。労働者向けに指導した。

青年には社会主義青年団を作り、113033出版物を発行し、反修とも闘った

こういった早い時期に一連の革命的活動を行って来たのは革命知識人が労働者と結合した
典型を示している。 濟南、広州、武漢、内外にフランス、東京にも共産主義小題が組織
された。計8つの小題と党員57名いた。 4人で各小題はフランスに代表を上海に
代表を送って、創立全口大会を開催した。

湖南省代表 毛沢東、陳潭秋

武漢 何叔衡

濟南 王盡美、鄧恩銘

これら毛主席を除き4名は
解放運動の犠牲者となった。

上海代表 李達 知識人、实际活動の中心。 哲学研究者。 解放後武漢大学校長になり
李漢俊 大会当時右日知見主義 第3回大会で除名
北京 張 日 丹 左日知見主義の長往の途へ費した毛に反対し、抗日戦の途へ向かい去った。
劉仁静 1927. 陳独秀の右日知見主義に反対した。
広州 陳公博 党の右日知見主義の陣営に入った。 抗日戦終了の途へ向かい去った。
東京 岡仙海 日本帝国主义に投降し、後補の途へ向かい去った。

第1回大会当時2つの誤りがあった。

- 1. 西欧のみに合意の党として社会活動を進めた。
- 2. 労働階級の党でありたい理由で、知識人と排除した。 — 在集内主義の観点

毛主席はマール主義の原則を主張し、これに勝利した。 大会後 湖南省に帰り、労働者、知識人
を入党させて党を発展させた。 当時から2つの路線があった。 左. 右の右日知見主義
1927年までは陳独秀の右日知見主義と闘った。 2つともは幼年の党であり、真の指導者
はなかった。 陳独秀は真のマール主義者らしく、毛は社会の情勢分析に基づいて、労働
者から中核から领导を起し上らせるべきだと思つた。 → マール主義と主張した。

1926. 毛の影響を以て労働者大衆は起上った。 陳は投降主義の陣営に属して
抑え、1927 蒋介石が反革命クーデターを起したとき、反撃すべきができませんでした。

1927秋 湖南省で農民蜂起が行った。 1つの根拠地を築いた。 都市を包圍する
というやり方を進めた。 (しかし当時の党中央は陳独秀の右日知見主義の誤りの後、右日知見
主義の 瞿秋白、李立三、王明は毛の主張に反対し、都市の暴動で革命をしよう
とした。 当時都市は敵の方が強く、過激主義の誤りにおぼろげの蜂起にエッ
その指導のため、都市にあつた方は100%失った

この頃毛の指導で農村根拠地はたえず発展していった。 指導は3回にわたる南の包圍
攻撃を反撃した。 3年の後、党中央はもう都市に居たくなり、農村に撤退していった。
そのころ毛等は毛の主張を押し、都市奪還の主張をした。 そのため農村の力を
次第に失い、1929 農村にあつた労働者赤軍はわずか25,000里の長往を行った。

1935. 1月 長往の途上貴州省の遵義という所で合併が南から、毛主席の路線
が確立されて、そのこの長往を終了していった。 毛は延安に於て彼は抗日戦を指